

第13回奥州前沢劇場

飛べ！マエサワクジラ

第13回奥州前沢劇場「飛べ！マエサワクジラ」は2月17日、前沢ふれあいセンターで上演され、午前と午後の計2回公演で約1,100人が鑑賞しました。

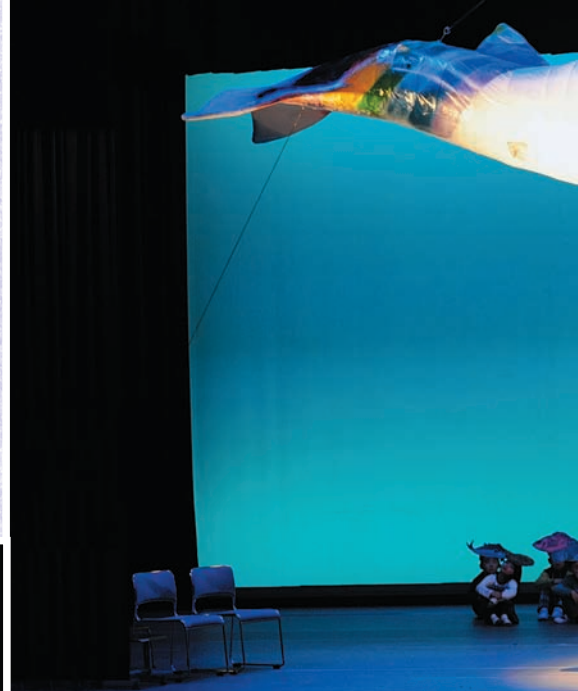
被災して、祖父母の暮らす前沢にやってきた主人公・海人^{かいと}が、地元の子どもたちの優しさに触れ、閉ざした心の扉を開いていくという物語。スタッフ・キャスト総勢100人が、心合わせて作り上げた感動の舞台に、観客はいつまでも大きな拍手を送っていました。



①主人公・比呂志は父に強引に誘われた山歩き中に崖から転落。タイムスリップしてしまう ②街道のにぎわいに華を添える宿場の踊り子 ③マタギの娘・サチとの出会いのシーン。サチが撃った流れ弾が比呂志の腕をかすめた ④連れ去られたサチを取り戻すため山賊に助けを求める ⑤姿を現した山神の化身。サチの祈りが怒りを鎮めた ⑥感動のフィナーレ。役者とスタッフ全員で「奥州胆沢劇場の歌」を合唱



❶海人は社会科見学で訪ねた牛の博物館で
マエサワクジラと出会う ❷2年生の然(中
央)が描いた「虹色のマエサワクジラ」に注
目する子どもたち。これをヒントに海人に
贈る劇が生まれる ❸子どもたちが創作し
たマエサワクジラ号が優雅に飛ぶ ❹みん
なが見守る中、仲間と強い握手を交わす海
人 ❺グランドフィナーレでは出演者全員
が勢ぞろい



せんぼく街道幻想

第29回 奥州胆沢劇場

第29回奥州胆沢劇場「せんぼく街道幻想」は2月24日、胆沢文化創造センターで上演されました。

現在の国道397号の前身に当たり、同市と秋田県仙北地方を結ぶ仙北街道で起こる「タイムスリップ」が巻き起こす物語。大学受験に失敗した主人公・比呂志は時空を超え、かつてにぎわっていた仙北街道へ。当時を再現したセットや、迫力のある演出が観客を楽しませました。午前と午後の計2回の公演で、約1,200人が鑑賞し、笑いあり涙ありの舞台に、観客は大きな拍手を送っていました。

